









平成29年度トットリズム活動表彰 優秀事業

県内においてそれぞれの地域の資源や特性を活かし、意欲をもって地域づくり活動を積極的に行っている個人や団体を表彰する「トットリズム活動表彰」について、34件の応募の中から7事業を決定しました。

団体名 鳥取県西部中小企業青年中央会 (会長 三輪 龍介、米子市)	 
事業名 子どもたちの心の成長に関わり『ふるさと』の原風景を残す「お地蔵さまプロジェクト」	
事業内容 開山1300年を迎える大山の魅力を地域の子どもたちに伝え、将来地域で活躍したい、恩返ししたいなど大山及び地域への愛着を持つきっかけづくりにも一昨年より実施。地域の保育園、幼稚園等に通う子どもたちが日本遺産「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」にも関連する大山寺参道のお地蔵様の清掃活動、お絵かき、お地蔵様巡りを通じて、大山の歴史や魅力を体感でき、地域愛を醸成する事業となっている。	
 	

団体名 支え愛絆でつなぐコミュニティ実行委員会 (会長 西尾 志郎、鳥取市)	 
事業名 支え愛・絆でつなぐコミュニティ「宿泊型避難所体験」	
事業内容 昔ながらの住宅と新興住宅が混在し、地域コミュニティの希薄化が課題となっている鳥取市千代水地区で「災害時の助け合い」を通じて人と人の絆を感じてもらおうと、県内初の「宿泊型避難所体験」(1泊2日)を実施。その中で避難所づくり、炊き出し、防災セミナー、支え愛マップづくり等を行い、防災意識の向上を図るとともに地域コミュニティの大切さを再認識できた。実施後には、地域で自主的に防災訓練や保存食づくりが開催される等、結束力が高まっている。	
 	

団体名 とっとりずむ (代表 酒本勇太、岩美町)	 
事業名 とっどりの頑張る人と人をつなげる「鳥取の魅力発信プロジェクト」	
事業内容 Uターンで鳥取県に戻ってきた当人が地域活性化を目指すローカルWEBメディア「とっとりずむ」を開設。雑誌には載っていない地域イベントや店舗、人を紹介し、「鳥取県を明るく元気に！」との思いから県内外に情報発信している。鳥取で頑張る「人」の応援、子育てや暮らしに役立つ情報など地域の生活に密着した取り組みにも着目し、実際に現場へ足を運んで取材・執筆を行い、人と人、人と企業をつなげ、鳥取県での新しいチャレンジを応援するプラットフォーム的な取り組みとなっている。	
 	

団体名

大山女性の会
(代表 桑原 可菜子、大山町)

事業名

国立公園大山の新たな土産物「大山古道」開発による地域づくり

取組内容

大山町では土産物店の閉鎖や代表的な土産物が無いことが課題となっており、開山1300年を迎えるのを機に、大山町の女性たちが中心となり、新たな土産物となるお菓子「大山古道」を開発。開発には地域の農家や若者も参加し、地元産の原材料にこだわった商品づくりを行った。また、町の商工団体等と連携し、マスコミ等にも取り上げてもらいながらPRを行い、大山の新たな魅力づくりに向けた地域住民の取り組みとなっている。



団体名

CAZADOR(カサドル)
(代表 高橋 龍太、琴浦町)

事業名

若者達が地域の厄介者を有効活用「狩猟技術の向上と鳥獣の有効資源化」

取組内容

鳥取県の鳥獣害対策ではハンターの高齢化、担い手不足が課題となっている中、3人の若者が自らハンターとなる狩猟グループを設立。ジビエ等の食肉や皮などの有効資源化にも取り組み、既存の狩猟グループ等と県全域でネットワークを形成。グループ結成から約1年でメンバーも30名以上に拡大。また、地域のこども園でお話を聞き、子どもたちへの生態系や鳥獣害の現状に関する教育活動、猪肉などのジビエを提供するイベント等を開催する他、獣の皮を使ったワークショップ等の活動に取り組んでいる。



団体名

松崎自主防災会
(会長 伊藤 敏雄、湯梨浜町)

事業名

防災活動強化プロジェクトで広がる地域の輪

取組内容

松崎地区では鳥取県中部地震において自主防災組織が機能しなかった反省を活かし「防災活動強化プロジェクト」が始まった。「私たちの町は私たちが守ろう」を目標に防災訓練、防災頭巾55プロジェクト等を実施。自主防災を強化するには人と人とのつながりが第一とし、防災頭巾づくりワークショップ等を開催し、地域の団体や個人が多く参加した。11月に開催した「まつぎき元気まつり」では園児への防災頭巾贈呈式をはじめ、消火体験や防災クイズなどを行い、多世代が交流しながら防災意識を高める機会となった。



団体名

境港・ベニガニ有志の会
(会長 濱野 政和、境港市)

事業名

ベニズワイガニのPR「水産の人材バンク～食育～魚の調理実習」

取組内容

境港のベニズワイガニをはじめとした豊富な水産物を多様な地域の主体(漁協、沿岸漁業者、料理人、金融機関、教育機関、行政機関など)がネットワーク「水産の人材バンク」を構築して普及・PR活動を実施。都会がうらやむ素材が当たり前のようにある地域の素晴らしさを体感してもらうため、保育園ではベニズワイガニの食べ方等を教える食育活動、高校では調理実習等の出前授業を行い、子どもたちの地域愛を育むとともに境港産水産物の普及に取り組んでいる。

